

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成28年度取組結果】

団体名	北九州埠頭 株式会社
-----	------------

所管課	港湾空港局 港営課
-----	-----------

団体に対するミッション
<p>①ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、ノウハウの蓄積や人材の育成を行いながら、市に替わって実務を担うことで、港湾施設の24時間365日の安定稼働を実現し、信頼性の高い港湾運営に貢献する。</p> <p>②第3セクターの強みを活かし、国の制度に基づいた埠頭運営の効率化に向けて、中心的な役割(人材育成など)を担っていく。</p> <p>③これまで培ってきた高度なメンテナンス技術を活かし、地場企業の不得意分野に対する技術協力を推進し、地域産業の振興、競争力強化に貢献する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>業務の徹底した効率化、コスト削減を図るとともに、これまでの業務遂行実績や技術力による優位性を生かした競争力の強化を図る。</p> <p>また、自主事業の収益拡大に向けて、これまで培った高い技術力やノウハウを最大限活かしながら、大型荷役機械等の保守点検業務の受注に向けた営業活動やその他PR活動等に取り組む。</p>

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	<p>年々、港湾施設の老朽化が進む中で、故障による稼働停止回数の増加を防止し、現在の水準を維持し続けるため、即応体制の強化と技術力の更なる向上を図り、利用者が24時間365日、いつでも万全な状態で使用できるよう維持管理体制の強化を目指す。</p>
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H27 実績	H28 目標 実績		H29 目標	H30 目標	H31 目標	H32 目標
施設の稼働停止回数(ガントリークレーン)	平均年10回/基	平均年12回/基以内	平均年9回/基	平均年12回/基以内	平均年12回/基以内	平均年12回/基以内	平均年12回/基以内
施設の稼働停止回数(その他施設)	平均年1回/施設	平均年2回/施設以内	平均年1回/施設	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設以内	平均年2回/施設以内
即応対応時間	平均56分	平均2時間以内	平均68分	平均2時間以内	平均2時間以内	平均2時間以内	平均2時間以内

ミッションの遂行状況の評価（平成28年度）

団体における評価	<p>ガントリークレーン、その他の施設について、稼働停止回数及び即応対応時間のいずれも目標を上回る結果となった。</p> <p>老朽化が進む施設に対応するため、計画的な予防保全の実施並びに社内勉強会の強化による技術力向上により成果を上げることができた。</p>	市の評価	<p>ガントリークレーン等の港湾施設のメンテナンス業務について、施設の老朽化が進むなか、高い技術力により、限られた予算の範囲で、主な成果目標である24時間365日の安定した稼働を実現しており、信頼性の高い港湾運営に貢献していると評価する。</p>
今後の課題及び見直し内容(案)	<p>ガントリークレーンの更新による新たな制御技術に対応する技術力の強化について、継続的に行なっていく一方、老朽化が進む施設についての維持管理の方法などについて今後の課題として更なる体制強化を図る。</p>	団体への改善指導内容(案)	<p>港湾施設のメンテナンス業務における計画的な予防保全の実施、即応体制の強化や技術力の維持・向上に努めることにより、北九州港の安定稼働の継続を求めていく。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	—
<p>自主事業の拡大に向けた取り組みとして、平成27年度よりトンネル設備点検を継続的に受託しており、新たな技術の習得並びに必要な資格等について積極的に講習会への参加を行っている。また、平成28年度には地場企業との技術提携により大型荷役機械の保守点検など自主事業の拡大を図るとともに積極的にPR活動に取り組んでいる。</p>	